

冬の皆生温泉

日本人として生まれてきた喜びの一つに温泉がある。諸外国の多くはシャワーをさっと浴びるだけ。確かに汗を流し身体を洗う爽快感はある。しかし日本のお風呂に浸かりゆっくりと体を温め、癒しの時間を取ることは無い。特に温泉と聞いただけで心身ともにリラックスする。たとえ出張先であっても温泉地となれば疲れも吹っ飛んでしまう。

ホテルに着いてまずお風呂。汗を流してすっきり風呂上がりの一杯はたまらない。まさに人生至福のひとつである。美味しい郷土料理に舌鼓を打ち、ゆっくりくつろいだ後の寝る前に、またお風呂に浸かりゆったりとして身体を温める。ポカポカした身体は蒲団の中で心地よい眠りとなる。

朝早く目が覚めた。朝食まではまだ時間があった。朝風呂に入ったのち外へ散歩に出かけた。何と辺り一面は雪化粧になっていた。一夜にしてこの変化である。ここは日本海に面した鳥取県西部に位置する皆生温泉。

冬の日本海は波が高く沖から止めどなく白波が押し寄せてくる。まるで台風のように荒れ狂っているように思えた。岩壁を波が音を立てて砕け散る。自然の力を知る思いだ。周りを見ると観光旅館やホテルなどデラックスな宿泊施設が 30 軒、4500 人を収容できるとか。山陰最大の温泉地である。天気が良ければ雄大な大山も間近に望める。

この歴史は比較的新しく 100 年余り。漁師が海中から湧き出す温泉を発見したことに始まる。19 か所の源泉は高温で湯量も豊富。そして松葉ガニ、岩ガキ、シロイカ、美保エビなどの郷土料理が観光客を魅了している皆生温泉である。

撮影 2016 年冬

